

令和4年3月31日

報道機関 各位

文部科学省

『ウィズコロナ時代の新たな医療に対応できる医療人材養成事業』に 富山大学(医学部・薬学部)が選定されました

文部科学省『ウィズコロナ時代の新たな医療に対応できる医療人材養成事業』に、医学部と薬学部が申請した事業が選定されました（交付予定額 2.3 億円）。

本事業は、①デジタル機器やシミュレーター、感染対策関連設備等を整備するとともに、②デジタルトランスフォーメーション（DX）や情報通信技術（ICT）を活用した医療人教育を実施することで、③オンライン遠隔医療など新たな医療に対応出来る医療人を輩出することを目的としています。

医学部と薬学部では、新型コロナウイルス感染症の流行により対面での教育が困難な中で、オンライン心肺蘇生法講習など教育の質を担保した実習手法を開発するとともに、地域と連携した感染症対策に取り組んで参りました。今回の事業では、ウィズコロナ時代に必要な教育環境の設備と、医学部（医学科・看護学科）生と薬学部（薬学科・創薬科学科）生に対するデジタル教育や感染症教育の充実により、新たな時代に対応できる下記の医療人材を養成します。

- ① DX や ICT に関する教育を充実させることで、オンライン診療、オンライン服薬指導などの遠隔医療に対応できる医療人材を養成します。
- ② コロナ禍でも高度な臨床教育を行うためにシミュレーターを導入し、卒業時の臨床能力の標準化と高度化を図ります。
- ③ 大規模な感染確認検査や感染免疫検査が実施できる検査拠点を整備するとともに、感染症教育により地域の感染制御の即戦力となる感染症医療人材を養成します。

本事業を通じ、新たな時代に対応できる医療人材を養成します。
取材・報道方よろしくお願ひ申し上げます。

文部科学省「ウィズコロナ時代の新たな医療に対応できる医療人材養成事業」
https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/iryuu/1415340_00003.htm

【連絡先】

富山大学医学部長 関根道和（TEL:076-434-7270）
富山大学薬学部長 酒井秀紀（TEL:076-434-7575）

背景・課題

(現状・課題)

- 社会全体のデジタルトランスフォーメーション（DX）革命と今般の新型コロナウイルス感染症のまん延により、医療環境においてはオンライン診療等の本格導入が見込まれる中で、医療職の養成段階においても早急な対応が必要となっている。
- また、医療職養成教育における実習等の在り方についても、当該感染症の完全終息が見通せない中では、対面に加えDX等を活用するハイブリッドの実習が必須として求められている。

(対応)

- オンライン診療をはじめとする遠隔医療など新たな医療に対応できる人材を迅速に輩出することを旨とし、これらの人材を短期的に養成するための設備整備を喫緊に行う。
- 感染症の完全終息が見通せないことによる臨地での実習時間の逡減（代替措置による実施）が恒常的となり、医療職養成の質の低下の懸念がある中、CADや3Dプリンタ等を活用したデジタル医療教育用の仮想空間シミュレータや音声・映像機器等を整備し、従来の実習のレベルはもとより、DX等の手法により従来の実習ではできなかった取組も可能とし教育手法の高度化を目指す。また、安全・安心な臨地実習の環境を確保するための感染対策関連機器について整備を行い、より高度かつ実践的な知識・技能を養う。

事業内容

【支援の考え方】

医療系学部を有する国公私立大学の中で、遠隔医療に関する教育内容の充実を検討している大学、コロナ禍における実習を実質的なものにするためのDXを活用した優れた教育内容の充実を検討している大学に対し、今年度中に教育・実習体制を整備する際に必要となる機材等を支援。

- 遠隔医療に関する教育設備の導入
- 実習等に資するシミュレーター、DX設備、感染対策関連機器の導入



遠隔実習用シミュレータ



手術トレーニング用機器



デジタル解析演習機器



高解像度3D画像（Real）

富山大学が選定されました（交付予定額 2.3億円）